



地域組織の確立で  
会員間の絆の促進を

# 定期総会への提出議案を確認

## 活動方針・活動検討委員会答申など

JAMシニアクラブは7月19日(水)、東京の友愛会館会議室で第3回幹事会を開催し、9月5日の「第9回定期総会」に提案する2018年度活動方針案、会計決算・予算案、2018・2019年度役員選挙委員会報告、政策実現活動方針などについて協議・確認した。結成15周年を機にこの1年検討してきた「シニア活動検討委員会」の答申案とこれに伴う規約改正を定期総会に提案する。

第3回幹事会には木村 大山会長は冒頭の挨拶  
副会長の開会と大山会  
長を座長に進められた。  
で、「森友学園、加計  
学園問題を通して安倍  
がっている」と共謀罪

の成立など一連の国会の流れを語り、「支持率低下の最大の理由は安倍総理を信頼しないがダントツ、安倍政権に不信任を突きつけている状況だ」と明言。後退する社会保障に対しては、「私たちは消費税問題について社会保障を充実させる財源として捉えてもっと意見を言っていかなければならない」と語った。来賓の藤川副会長は、

2年後の参議院選挙について「JAM組織内国会議員が必要だということ」で議論している。24日の臨時中央委員会で組織内候補者を決定したい」と候補者擁立に意欲を示した。(※その後臨時中央委員会で田中久弥副書記長を擁立することを機関決定した)。  
懸案となっていたシニア共済については、「加入年齢を5年延長

過日の東京都議選では都民ファーストの会の圧勝、自民党惨敗で「安倍一強」にイエロウカードを突きつけた結果となりました。

この結果自体にはさもありなんと  
う一方、どうにも無念なのはこの選挙で表された民進党の不甲斐なさであり、野党第一党としての存在感の薄さです。そして当然の如く、選挙結果への責任論が持ち上がり党首と幹事長の辞任に至りました。つい先日選出されたばかりなのに。

このような状況下で茨城県では8月27日・投開票の県知事選が実施されます。現時点では7選を目指す現職と自公が推す新人並びに社会活動家の新人女性候補の3人が立候補するとみられ、また、この拙文を書いている7月末時点で民進党党首選への立候補者は3名と報道されていきます。

# 民進党党首選では

## 座標軸の憲法議論を

茨城シニアクラブ会長 高石 勝巳

私は50余年に亘って民社党・民主党・民進党を支持・支援してきたのですが、このような混乱の状況は誠に残念でありま

ています。連合は現職を推しますが民進党は再再再の自主投票であり、い

に残念でありま  
すし、早期に体制を再構築して貰いたいと思っております。

茨城県でも民進党は衆議員2名、参議隊を明記する」方向が望ましいと思っ

### 主張



し、85歳までとする改正案を今年の定期大会に提案すること明らかにした。  
また連合が発表した「残業代ゼロ法案」を容認したことに対して「JAMは主張すべき点を整理して発言していく」と挨拶した。  
活動報告では現役が実施した「JAM単組活動実態調査」結果をふまえた現役としての今後の方針についての質問、シニアの会員数が前年度比249人減少し、7785人となったことに、会員実体を精査した結果であること、加入活動をやってもらって退会や逝去が多い現状の報告がされた。  
協議事項ではシニア活動検討委員会答申の会員の対象について意見交換された。また活動方針案では退職者連合の政策制度の取組に中央、地方で退職者連合活動に協力する形で参加しているが、地域性の課題が多く、JAM地方シニアとしてどのように関わっていくか方針に補強していくことにした。

### 神奈川

## 心地の良い汗を流す パークゴルフ大会を開催

### 加藤 照雄事務局長



4月12日午後、神奈川県シニアクラブの第2回パークゴルフ大会は第1回の川崎・宇奈根から場所を変更し、開成・水辺スポーツ公園

にて開催した。参加は総勢34人、全27ホールを約3時間でラウンドし、春の日差しの中で心地よい汗を流した。大会も開催されるほど立派で、きれいに整備されたコースに「是非来年も」と開催を望む多くの声が寄せられた。

優勝と二位はホームコースとしている日鍛バルブOB会のお二人、ホールインワンを出した不二サッシユニオン・

シニアクラブが準優勝。クラブやボールなど通常のゴルフとは色々異なるが、ツワモノが上位に入賞した。表彰式を兼ねた懇親会では、各シニアクラブの枠を越え、参加者同士で大いに盛り上がり、健闘を称え合った。



運動系イベントはこれまでハイキングを年2回実施してきたが、少し趣向を凝らして1回を別の企画として検討している。文化系イベントは囲碁・将棋、麻雀を各1回開催するが、神奈川県大会での対抗戦に向け、ある単会では事前に合宿練習を行い、実践トレーニングを積んで連覇に燃えているシニアクラブもある。今後も参加者や単会の声に耳を傾けながら、継続してより良いイベントが開催できるように運営を計画していきたい。

### 茨城

## 東京製綱OB金森さん雪辱 グラウンドゴルフ交流会

### 井上 純一通信員



JAM茨城シニアクラブ恒例のグラウンドゴルフ交流会を7月5日、「いこいの村潤沼」で開催した。参加者は総勢で18人。参加者の会社別OB会の内訳は東京製綱10人、JVC6人、自動車铸件2人でした。JVC5人は車でいこいの村潤沼に直行、他は神立駅・他か

ら送迎バスで会場に着。すぐさまグラウンドゴルフ会場へ移動。既に到着して会場に待機していたJVC県北組から、各自がクラブとボールを受取り、1組4人編成で4組が2コースに分かれスタート、計16ホールを順次周りプレーした。プレー終了後、各自入浴を済ませ、懇親会前に表彰式を行った。第1位は東京製綱・金森さん、第2位は同小



松さん、第3位も同五十嵐さんで、東京製綱の皆さんの活躍が目立った。金森さんは前回5位で雪辱を期して臨んだ。

### 岐阜

## 第1回ボウリング大会 熱気と盛り上がりを見せた会場

### 傍鳴 征夫通信員



JAM岐阜シニアクラブ第1回交流ボウリング大会を6月17日(土)、岐阜クラウンドボウリング会場で35人の参加で実施した。昨

年度まではゴルフ大会を開催していたが、誰もが気楽に楽しめるスポーツとして、今年ボウリング大会を企画し開催した。

参加者の中には、日頃ボウリングを趣味としてやっておられマイボールを持って参加する方や何十年ぶりにボウリングの玉を手にした方など様々。現在では初心者でもボウリングを楽しみながら出来るよう機械が自動的に



計算、レーンの前に表示される上に子供からお年寄りまで幅広い年齢層で楽しめるスポーツとして人気がある。当日は他のお客様を交えての大会となった。スタートすると同時に

ピンを直指し、ボールを転がした瞬間、ボールの指穴サイズに合わないせいか、ボールの伸びがなくスコアが伸びず苦笑いをする方や華麗なフォームでボールを転がしストライクを取られる方を見て拍手が湧く。ボウリングに集中して打球する時と、他の友達が打球する時のほっとする瞬間が交互に起きる間の面白さは、ボウリングをやった方しか味わうことが出来ないスポーツであると思う。大会も中間になるとレーンにも慣れスコアの点数も伸び会場も熱気で盛り上がりを見せた。

反省会を兼ねた成績発表を北村会長より報告され、優勝は服部ひさえ様、準優勝・佐橋幸司様、3位・丹羽利和様、BB賞・北野武司様に記念品が授与された。反省会においては、次回は家族サービスタとして「ファミリーで参加出来るよう企画して欲しい」とのお言葉を頂くことが出来、企画側として大成功であったことを実感した。